

令和元年度 第22回「まちづくり会議」概要 林中地区

日 時：令和元年10月5日（土） 10：00～11：30

場 所：林中公民館

参加団体等：地区協議会、林中教和会、防犯協会、北消防団松南分団、体育協会、すみれ会、林中まちづくり委員会、商工振興会、こども会、JA松任青年部、林中かかし地域おこし実行委員会、PTA、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、林中子ども園、林中こども園保護者会、林中ボランティアグループ、公民館長、白山市町会連合会理事など

発言【1】

松任駅と観光資源をつなぐ方策について

【市】

現在、市内を走っている路線バスは、主に通勤・通学などの交通手段として市内や市外に向けて運行しています。コミュニティバス「めぐーる」につきましては通院や買い物に利用しやすいように、路線バスを補完するかたちで運行しており、まずは市民が市内で利用しやすくなるための活用について引き続き調査、検討を行ってまいります。

今後、観光客などの松任駅から各観光資源へのバス運行の観光需要があれば、旅行者等と検討してまいりたいと考えています。

発言【2】

コミュニティバスの南部車庫利用や高齢者利用について

【市】

通学の時間帯にコミュニティバスを北鉄南部車庫に接続することは難しいですが、コミュニティバスと路線バスの結節点として北鉄南部車庫を活用することにつきましては、バス運行事業者と協議したいと考えています。

また、高齢者の利用につきましては、市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めています。免許証を返納された高齢者の交通手段について地域で話し合い、福祉施設の車の送迎時間以外の空き時間を活用する方法など、公共交通空白地の運送事業を実施することについても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つとして考えています。

発言【3】

道の駅めぐみ白山から四十万方面への道路整備について

【市】

一般県道松本木津線では、道の駅「めぐみ白山」開設に伴い、朝夕の交通量の増大や急カーブのため見通しが悪く、円滑な交通の確保が難しい状況です。国道8号より山側区間の道路線形の見直しを含む道路改築の早期事業化を、石川県に要望してまいります。

また、今年度国道8号の6車線化が事業採択されました。工事の進捗に併せて乾の交差点の立体交差化や右折レーンの設置を要望していきたくと考えています。交差点の混雑が緩和され国道8号の利用が増えることで、一般県道松本木津線の渋滞の緩和にもつながると考えています。

今後、白山総合車両所と道の駅めぐみ白山、四十万方面までの県道が整備されれば、白山比咩神社、白山等の観光ルートとしての活用も検討してまいります。

発言【4】

公民館について

【市】

公民館の整備につきましては、昭和56年以前建設の旧耐震基準の公民館の改築を優先して行っています。その目途が立った後に、昭和57年以降建設の公民館の整備等を検討して行くこととしており、林中公民館は昭和58年に建設され、市内28公民館のうち7番目に古く、築35年が経過しています。

今年度は、建設年次の最も古い湊公民館の建設に着手しており、今後、古い順に整備行っていくこととしていますが、市の財政状況や市全体の均衡を図りながら整備を進めていきたくと考えています。

また、建設中の湊公民館は自家発電装置を備えており、今後建設する公民館は二次避難所ということを想定し、マンホールトイレ等を取り入れた防災施設的なものにしたいと考えています。

発言【5】

放課後児童クラブ開設について

【市】

林中放課後児童クラブを新規に開設することにつきましては、クラブの運営者を決めていただく必要があります。また、スタッフなどの人材確保、開設場所の選定、

クラブの運営方法など多くの条件を満たしていく必要があります。

開設場所につきましては、松南小学校建設時に、放課後児童クラブの使用を想定したスペースを確保しており、条件が整ったときには、小学校内の利用について必要な協議をしてみたいと思いますので、このスペースの活用について検討いただきたいと思います。

発言【6】

防犯カメラの設置について（ダミーを含む）

【市】

毎年、松南小学校を含めて全学校のPTA、育友会などから横断歩道や信号、防犯カメラの設置など要望のあった場所を、学校、警察や道路管理者の合同で通学路点検を実施しています。

平成28年度からは、通学路や地下道などに犯罪抑止のために防犯カメラを設置しており、設置場所は、付近に民家などが無いなど人目に付きにくい場所、危険と考えられる場所などで、警察と相談しながら緊急度の高い場所から設置しています。

市が設置する防犯カメラは、犯罪の抑止が第1の目的ではありますが、犯罪発生時の捜査や、行方不明者の捜索など人命に関わる場合には画像を警察等に提供し活用することとしていますので、現時点ではダミーの防犯カメラを設置する予定はありません。

発言【7】

①通学路（松南小学校～乙丸）の防犯灯について

②道路の陥没について

【市】

①通学路（松南小学校～乙丸）に防犯灯を設置することにつきましては、現在、作物の生育に影響があるとのことで実施していません。町内会や学校など関係機関のご協力のもと、農家の皆様のご理解が得られるようであれば、設置したいと考えています。

②学校周辺の通学路において、指摘されている陥没箇所は不明ですが、数か所において陥没の修復作業をおこなっています。今後も道路の陥没（轍）につきましては、他の通学路との状況をみながら順次進めてまいりたいと考えています。

発言【8】

- ①松南グラウンドのスピーカーの設置と砂の補充について
- ②住宅団地の造成について

【市】

①一次避難所で使用する防災用の屋外拡声子局（スピーカー）につきましては、松南グラウンド（旧松南小学校跡地）駐車場に設置してあります。社会体育大会で使用するスピーカーにつきましては、他の類似施設や利用状況をふまえ、今後検討してまいります。

また、砂の補充につきましては、グラウンドの状況を確認しながら対応したいと考えています。

②住宅団地につきましては、当該地域は市街化調整区域となっており、市街地の開発を抑制すべき地域となっています。しかしながら、既存集落においてまちづくり開発制度を活用した一定の開発や建築を可能とする計画策定や区域の指定により、周辺の田園景観と調和した集落環境の充実や活力維持を図る方法もあることから、地区での開発や建築の要望につきましては、建築住宅課にご相談くださいますようお願いいたします。

発言【9】

健康維持のために手取川七ヶ用水沿線に歩道・自転車道の整備を

【市】

現在、手取川七ヶ用水の山島用水は親水ロードとして、景観保全水路や親水公園を配し、のどかな田園風景や用水の大切さを感じながら、安心して歩ける歩道や自転車道などが整備されています。

しかしながら、用水沿いの道は農道や七ヶ用水管理用として使用をしているものであり、健康増進のための用水沿いにおける歩道等の新規の整備は、現在、農業関係の国や県の補助に当てはまる事業がなく、市単独での整備は難しいものと考えています。今後、農業関係を除いた補助制度に当てはまる場合は、関係部局や手取川七ヶ用水土地改良区と協議のうえ、条件が整えば、計画的に整備を進めて行くことも考えられます。

市では、市民・自然・まちのすべてが健康であることを願い、平成31年3月に「健康都市宣言」を行い、元気なまちづくりに取り組んでいます。

昨年度には、白山市ウォーキングマップを作成し、七ヶ用水をはじめ市内のおすすめスポットを巡るコース、その距離、所要時間などを紹介していますので、健康

維持のためにご活用ください。

今後も、ウォーキングマップの周知やウォーキング事業の実施など、市民の健康づくりに取り組んでまいります。

発言【10】

水素社会の取り組みについて

【市】

現在、国においても、脱炭素社会構築に向け、燃料時にCO₂（二酸化炭素）を排出しない燃料電池車（FCV）の技術開発やその燃料である水素の活用に重点を置いてきています。しかし、水素活用の関連技術にかかるコストがまだ高い状態であり、今後は、国等の動向を見守りながら、大学との連携の中でも研究していきたいと考えています。